

第1回茨城県男女共同参画審議会における御意見等と対応

資料1

<全体>

御意見等	対応
ジェンダー平等, SDGsの要素を盛り込んで欲しい。	・以下を, 素案の基本的な考え方- I 計画の概要-2 計画の性格に記載しました。 「SDGsの視点も踏まえ, 県民・事業者・関係団体, NPO, 国, 市町村など多様な主体との緊密な連携のもと, 男女共同参画社会の実現に向けて取り組むための指針となる計画です。」
男女共同参画とは, いかに男性に理解をしてもらうかが重要。男性も参加しやすいようにするには, 「女性」に特化しない方が良い。	・基本目標 I 「～女性の参画拡大」を「～男女共同参画の推進」に変更しました。 ・基本目標 II 施策の方向性2「女性に対するあらゆる暴力の根絶」の「女性に対する」を削除しました。 ・基本目標 II 施策の方向性3「生涯を通じた女性の健康支援」の「女性の」を削除しました。
総花的なものは刺さりにくい。働く女性の一生のライフステージを考えた場合, 就職, 結婚, 出産, 子育て, 離婚など, 人生のステージごとに分けて施策を紐づけてもらえるとうわかりやすい。	・働き方は人によって様々であるため, 取組がどのステージに該当する施策か分かるような記載に努めました。
(計画は)一般の人が見て分かりやすいもの, 男女共同参画の必要性が実感できるようなもの, 困っている人が身近に感じられるようなものにしなないとなかなか理解してもらえないし, 一般に浸透しない。	・県民向けに計画の趣旨や概要をわかりやすく示した資料の作成を検討します。 ・参考資料として, 相談先一覧などの掲載を検討します。
家庭内を含めた教育と併せ, 各事業所ごとの取組(ワークライフバランスに配慮した職場環境づくり)が大切。	(参考意見)

<項目別>

御意見等	対応
1 あらゆる分野における男女共同参画の推進	
(1)政策・方針決定過程への女性の参画拡大	
(2)雇用等における男女共同参画の推進と仕事生活の調和	
・働きやすい環境の整備は重要だが, (中小)企業への負担が大きすぎるというイメージを持たれないようにしたほうが良い。	・官民連携による意識醸成や, 企業自らの取組を促すような記載としています。(素案16ページ, 主な取組(1))
・LINEを使った労働相談など, 若い年代でも相談しやすい環境づくりをしている。	(参考意見)
・コロナ関連で緊急労働相談を実施。非正規雇用や派遣契約など, 女性が不安定な環境で働いていることを改めて実感。	(参考意見)
(3)地域における男女共同参画の推進	
・「家族経営協定締結数」がC評価だが, 農家内で協定がだいぶ浸透してきているためと言える。男女共同参画の進捗を計る指標としてふさわしいか, 検討が必要。	・指標項目とするかどうかは, 各分野の現状と今後の動向を踏まえて次回までに検討します。
(4)科学技術・学術における男女共同参画の推進	
2 安全・安心な暮らしの実現	
(1)あらゆる暴力の根絶	
・DVの相談場所が少ないのでは。理想的には配暴センターを各市町村に配置するなど, 相談しやすい状況を作ることが必要。	・「ストーカー・DV事案, 性犯罪等に迅速かつ的確に対処するとともに, 犯罪被害者やその家族等への支援を適切に行うため, 被害者等が相談しやすい環境の整備や民間団体と連携した支援体制づくりを推進します。」と記載しました。(素案22ページ, 主な取組(1)1番目の○)
・DV被害にあっている方は, 他者に相談するのが苦手だったり, 身内に頼れないことも多い。LINEの活用など, 相談のしやすさや多様なアプローチが必要だし, 助けを求めてもよいことを教育することも大事。身内や友達だけではサポートが不十分なので公的支援が重要。	

御意見等	対応
(2)男女共同参画の視点に立った生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・2 安全・安心な暮らしの実現(2)で、「～貧困等と生活上の～」とあるが、この括り全体が「貧困」に関するものに受け取られてしまうため「貧困等」の文言はないほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「貧困等」を削除しました。
<ul style="list-style-type: none"> ・「性的少数者」という表現は果たして適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「性的少数者」という言葉は使用せず、「性的指向・性自認(を理由とする不当な差別的取扱い)」に言い替えました。(素案23ページ, 主な取組(4)2番目の○)
<ul style="list-style-type: none"> ・「LGBT～」は当事者だけになってしまうのに対して、自分事として捉える「SOGI」という用語もある。まだ浸透していないが、用語集などでも良いので盛り込んでどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連用語の解説を記載することを検討します。
<ul style="list-style-type: none"> ・性的少数者については、労組団体においても「SOGI」を使用している。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の方と男女共同参画をどう結びつけていくかという視点も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ダイバーシティ社会へ向けて」として、「多様性を受け入れ、認め合うための共同参画の取組を推進する」旨を記載しました。(素案23ページ, 主な取組(4)1番目の○)
(3)生涯を通じた健康支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・がん罹患率は、若い「AYA世代」では女性の方が高い。特に、子宮頸がんはワクチン接種で予防できるので、予防接種に関する教育を盛り込んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒を対象とした健康教育の充実を図る旨を記載するとともに、関係課にご意見をお知らせします。(素案24ページ, 主な取組(1)1番目の○)
<ul style="list-style-type: none"> ・希望している人が妊娠出産できる基盤、子供を産み育てられる社会づくりが必要。男性の育児参加も大事。不妊治療はお金も時間もかかるし、受診のための職場理解がとても大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「結婚・出産の希望がかなう社会づくりとして記載しました。(素案24ページ, 主な取組(2)1番目の○) ・また、男性の育児参加については、「女性が活躍できる働き方の実現」として記載しました。(素案16ページ, 主な取組(2)2番目の○)
(4)防災・復興における男女共同参画の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・DMAT, DCATなどの訓練に対する支援などもう少し具体的に記載して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> DMAT等の訓練については、県総合計画(56ページ)に盛り込まれています。男女共同参画基本計画では、災害・防災対応・復興に男女共同参画の視点を取り込んでいく旨を記載しました。(素案25ページ, 主な取組(1)1番目の○)
3 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	
(1)男女共同参画の視点に立った各種制度等の整備	
<ul style="list-style-type: none"> ・親の介護の問題が出てくるとき、女性がそのことだけに負担を強いられるのではなく、家族で老いとか介護とかを考えていけるような社会づくりのために何をしないといけないかというのが、今後具体的に盛り込まれていくと非常に良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点から、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた意識啓発を図る旨を記載しました。(素案25ページ, 主な取組(1))
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの数だけでなく、地域包括支援センターの役割を明記していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの役割については、高齢者福祉計画等で整理されていると考えます。男女共同参画基本計画においては、地域包括ケアシステムとして、男女共同参画社会の実現に資する制度として記載しました。(素案26ページ, 主な取組(3))
<ul style="list-style-type: none"> ・計画に地域包括支援センター数を増やすと記載するのはいかがなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指標項目とするかどうかは、各分野の現状と今後の動向を踏まえて次回までに検討します。
(2)教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革, 理解の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・小中高のうちから、男女共同参画やSOGIの概念を学べるようになると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育も含め、あらゆる世代を対象にした意識啓発を図る旨を記載しました。(素案27ページ, 主な取組(1))
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の中で強く訴えていかないと変わらないのでは。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の意識のギャップを埋めていく必要もある。 	